

## 山形県金融経済概況

### 1. 全体感

山形県の景気は、厳しい状態にあるが、持ち直しの動きが続いている。

最終需要の動向をみると、公共投資は横ばい圏内で推移しているが、設備投資は前年を下回る動きとなっている。個人消費はサービス消費中心に厳しい状態にあるが、全体としては持ち直しの動きが続いている。住宅投資は弱めの動きとなっている。

こうした中、生産は持ち直しの動きが続いている。雇用・所得環境は弱めの動きが続いている。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は前年を下回った。

### 2. 需要項目別の動向

#### (1) 公共投資・・・横ばい圏内で推移

12月の公共工事請負金額は、国の発注は増加したものの、県や市町村の発注が減少したため、前年を下回った（前年比▲40.7%）。

（図表1）公共工事請負金額 前年比、%

	2020年 3月	6月	9月	2020年 10月	11月	12月
山形県	26.4	▲48.1	▲5.3	▲38.8	14.9	▲40.7

＜資料＞東日本建設業保証(株)

（注）pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの（以下同じ）。

#### (2) 設備投資・・・前年を下回る動き

11月の建築着工床面積（民間非居住用）は、教育・学習支援や宿泊・飲食サービスなどは減少したものの、農林水産業や運輸などが増加したため、全体では前年を上回った（前年比40.3%）。

こうした中、12月短観における2020年度の設備投資計画（全産業）は、非製造業で下方修正され、前年度を下回る計画となっている（前年度比▲4.3%）。

（図表2）建築着工床面積（民間非居住用） 前年比、%

	2019年 12月	2020年 3月	6月	2020年 9月	10月	11月
山形県	▲11.5	▲6.1	26.7	▲18.7	▲3.8	40.3

＜資料＞国土交通省

（図表3）県内企業の設備投資額（2020年12月山形短観） 前年度比、%

山形県	2018年度(実績)	2019年度(実績)	2020年度(計画)
全産業	3.2	▲22.6	▲4.3<▲3.1>
製造業	▲9.0	▲27.1	▲3.3<3.4>
非製造業	26.5	▲16.3	▲5.6<▲10.1>

＜資料＞日本銀行山形事務所

〈 〉内は前回調査比修正率、%

(3) 個人消費 . . . サービス消費中心に厳しい状態にあるが、全体としては持ち直しの動きが続いている

11月の百貨店・スーパー販売（全店ベース）は、飲食料品は前年を上回ったものの、衣料品の減少から全体では前年を下回った（前年比▲1.0%）。コンビニエンスストアは、外出者などの減少から前年を下回った。ドラッグストア、ホームセンターは、衛生用品が好調なほか、巣ごもり需要の継続などから前年を上回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売 前年比、%

山形県	2020年 1~3月	4~6月	7~9月	2020年 9月	10月	11月
全店	▲4.0	▲3.7	▲5.3	▲8.4	0.7	▲1.0
既存店	0.1	1.4	▲1.0	▲4.3	4.9	4.5

<資料>経済産業省

12月の乗用車新車新規登録・届出台数は、前年を上回った（前年比9.4%）。

(図表5) 乗用車新車新規登録・届出台数 前年比、%

山形県	2020年 3月	6月	9月	2020年 10月	11月	12月
乗用車 合計	▲15.8	▲20.0	▲10.4	34.3	17.6	9.4
普通車	▲24.2	▲30.6	▲10.3	39.5	34.1	10.6
小型車	▲11.5	▲21.6	▲11.8	42.9	▲7.1	▲15.1
軽四輪	▲12.9	▲9.9	▲9.5	23.4	29.4	32.3

<資料>東北運輸局

この間、サービス消費は、新型コロナウイルス感染症の影響から、飲食・宿泊を中心に厳しい状態となっている。

(4) 住宅投資 . . . 弱めの動き

11月の新設住宅着工戸数は、持家は増加したものの、貸家と分譲が減少したことから、全体では前年を下回った（前年比▲20.8%）。

(図表6) 新設住宅着工戸数 前年比、%

	2019年 12月	2020年 3月	6月	2020年 9月	10月	11月
山形県	▲35.6	▲19.5	▲42.6	▲23.6	19.8	▲20.8
持家	▲17.9	6.8	▲17.3	10.6	60.5	10.8
貸家	▲41.7	▲47.9	▲50.8	▲54.0	▲17.7	▲58.7
分譲	▲51.1	▲44.9	▲71.4	▲45.5	▲5.0	▲13.6

<資料>国土交通省

### 3. 生産・・・持ち直しの動きが続いている

10月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月を上回った（前月比7.0%）。業種別には情報通信機械など7業種で低下したものの、はん用・生産用・業務用機械や電子部品・デバイスなど15業種で上昇した。10月の在庫指数（季節調整済）は、前月を上回った（前月比2.8%）。

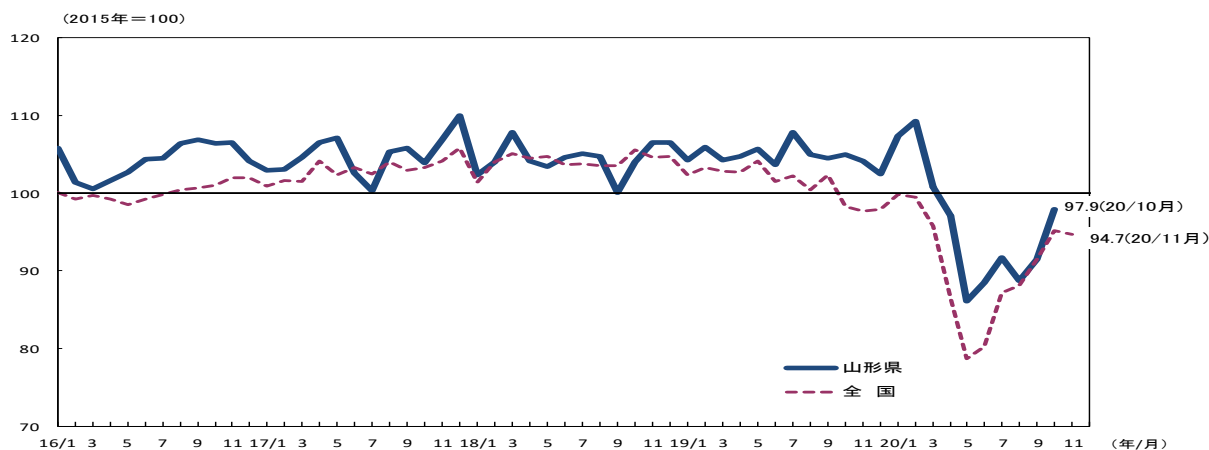
（図表7）鉱工業指数

2015年基準

山形県		2019年 12月	2020年 3月	6月	2020年 8月	9月	10月
生 産	季節調整済前月比%	▲1.6	▲7.8	2.8	▲3.3	r 3.2	p 7.0
	原指数前年比%	▲0.6	▲1.8	▲11.7	▲16.9	r ▲10.9	p ▲5.0
在 庫	季節調整済前月比%	0.2	8.1	5.0	0.5	r 1.6	p 2.8
	原指数前年比%	7.0	7.8	9.5	5.7	r 6.3	p 10.4

<資料> 山形県

（図表8）鉱工業生産指数（季節調整済）の推移



<資料> 経済産業省、山形県

### 4. 雇用・所得環境・・・弱めの動き

11月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.06倍となった。業種別の新規求人数は、建設業は増加したものの、製造業や運輸・郵便、卸・小売、宿泊・飲食サービスなど多くの業種で減少した。11月の雇用保険受給者は、前年を上回った（前年比36.3%）。

（図表9）雇用関係指標（その1）

倍、%、<>内は前年比

山形県	2020年 1~3月	4~6月	7~9月	2020年 9月	10月	11月
有効求人倍率	1.30	1.06	1.03	1.03	1.05	1.06
完全失業率	2.1	2.4	2.3	—	—	—
雇用保険受給者	<19.4>	<20.6>	<33.3>	<33.3>	<32.9>	<36.3>

<資料> 厚生労働省、総務省、山形労働局

(注) 有効求人倍率、雇用保険受給者の四半期データは、四半期末の水準。

10月の常用雇用指数は、前年を下回った（前年比▲0.3%）。業種別には、運輸・郵便や教育・学習支援などが前年を上回ったが、宿泊・飲食サービスや生活関連サービス、製造業などは前年を下回った。

10月の所定外労働時間は、前年を下回った（前年比▲10.7%）。業種別には、運輸・郵便などが前年を上回ったが、製造業や医療・福祉などは前年を下回った。

（図表 10）雇用関係指標（その 2） 2015 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山形県	2019年 12月	2020年 3月	6月	2020年 8月	9月	10月
常用雇用指数	1.4	0.9	▲1.6	▲0.9	▲0.9	▲0.3
所定外労働時間	▲10.9	▲6.2	▲19.3	▲7.1	▲8.9	▲10.7

＜資料＞山形県

10月の現金給与総額（名目賃金指数）は、建設などは増加したものの、製造業や卸・小売などが減少したため、前年を下回った（前年比▲3.0%）。

10月のきまって支給する給与は、前年を下回った（前年比▲2.8%）。

（図表 11）所得関係指標 2015 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山形県	2019年 12月	2020年 3月	6月	2020年 8月	9月	10月
現金給与総額 （名目賃金指数）	3.6	▲1.0	▲3.2	▲3.2	▲1.7	▲3.0
きまって支給 する給与	1.5	▲1.3	▲3.1	▲2.9	▲3.2	▲2.8

＜資料＞山形県

## 5. 企業倒産・・・落ち着いた動き

12月の企業倒産（負債額 10 百万円以上）は、件数（3 件）、負債総額（3.5 億円）とも低水準（＜前年同月＞倒産件数 6 件、負債総額 4.2 億円）。

（図表 12）企業倒産 件、億円

山形県	2020年 3月	6月	9月	2020年 10月	11月	12月
件数	1	2	1	4	3	3
負債総額	3.0	0.4	3.8	4.6	1.6	3.5

＜資料＞(株)東京商工リサーチ

## 6. 物価・・・前年を下回った

11月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、エネルギー価格の下落などから、前年を下回った(前年比▲0.9%)。

(図表 13) 消費者物価指数

2015年基準、前年比、%

山形市	2019年 12月	2020年 3月	6月	2020年 9月	10月	11月
総合	1.0	0.1	▲0.5	0.1	▲0.4	▲0.8
生鮮食品を除く総合	0.9	▲0.1	▲0.6	▲0.5	▲0.7	▲0.9

<資料>山形県

## 7. 金融

11月の県内預金(銀行+信用金庫)は、前年を上回った(前年比8.2%)。また、11月の県内貸出(銀行+信用金庫)も、前年を上回った(前年比3.9%)。

この間、11月の貸出金利は前月から低下した(前月比▲0.001%ポイント)。

(図表 14) 預金、貸出金

%

山形県	2019年 12月	2020年 3月	6月	2020年 9月	10月	11月
実質預金+CD (未残前年比)	0.9	0.8	5.6	7.9	8.7	8.2
貸出金 (未残前年比)	▲1.0	▲1.6	2.2	3.9	4.6	3.9

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。  
 ・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。  
 ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。  
 ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。  
 ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表 15) 貸出約定平均金利

%ポイント

山形県	2020年 1~3月	4~6月	7~9月	2020年 9月	10月	11月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	▲0.004	▲0.022	▲0.013	▲0.004	▲0.005	▲0.001

11月末水準  
0.955%

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以上

(内容に関するお問い合わせ先)  
 日本銀行山形事務所  
 TEL: 023-622-4004